

◎ 彙報

第五一回原爆文学研究会

- 日時 二〇一六年二月二十四日(土)
- 会場 神戸センタープラザ17号会議室
- 報告1 林京子・核と帝国と日本人娼婦

報告2 音楽における原爆の表象

——原爆詩の扱いとその変遷に着目して

能登原 由美

報告3 台湾現代文学における「核」の表象

李文茹

○原爆文学「古典」再読4 ——峠三吉『原爆詩集』

発題

川口 隆行

野坂 昭雄

第五二回原爆文学研究会

- 日時 二〇一七年五月二〇日(土)・二一日(日)
- 会場【二〇日】原爆の図丸木美術館
- 【二一日】立教大学池袋キャンパス

一、二号館地下第一、第二会議室

【二〇日】

本橋成一映画『ナージャの村』上映

「ペラルーシ再訪2017」上映 ナアフタートーク

聞き手 柿木 伸之

【二一日】

報告1 原爆と演劇

——雑誌『新劇』掲載戯曲を中心に

鴨川 都美

報告2 戦後国語教科書における原爆文学

——林京子『空き缶』における手法と指導方針

堀本 嘉子

報告3 原爆から3・11へ

——キリスト教と現代日本文学

加島 正浩

第五三回原爆文学研究会

- 日時 二〇一七年九月一六日(土)
- 会場 広島大学東千田未来創生センターM204講義室

報告1 第五福竜丸・久保山愛吉さんに

寄せられた3000通の手紙 市田 真理

報告2 那須正幹と原爆

——『原爆』を読む文化事典』・「教育と原爆児童文学」補遺

宮川 健郎

○「原爆文学」再読5 ——林京子「再びルイへ。」

発題 島村 輝

村上 陽子

国際ワークシヨップ 東アジアから原爆文学を読みなおす

(嶺南大学校 人文学事業団 東アジア平和学チーム主催)

原爆文学研究会・大阪大学大学院文学研究科グローバル日本研究クラスター協賛)

○日時 二〇一七年九月二十九日(金)・三〇日(土)

○会場 韓国・大邱 嶺南大学校 第二人文館201号

【二十九日】

趣旨説明

崔 範洵

セツシヨン1 原爆文学研究の現状と課題

——東アジアから問いなおす——

報告1

原爆文学研究の現状と課題

——東アジアという視座から——

川口 隆行

報告2

原爆文学と朝鮮人被爆者・在韓被爆者

討論者

李 文茹

曹 銘根

セツシヨン2 韓国の原爆文学をどう読むか

報告 記憶の政治学と国境を消す苦しみの連帯

討論者

金 文柱

村上 陽子
権 赫泰

【三〇日】

○スタディーツアー

陝川・原爆資料館

大邱・大邱第一教会、ヒウム日本軍「慰安婦」歴史館

華僑学校、三中井百貨店大邱支店跡など

『原爆文学研究』投稿規定

- 一、原爆文学研究会の機関誌として会員からの意欲的な投稿を歓迎します。会員以外の原稿掲載については編集委員会にて判断します。
- 二、投稿に際しては、住所・電話番号を明記の上お送り下さい。原稿は返却いたしませんので、お手元に控えをお残し下さい。
- 三、パソコン等を使用の場合はプリントアウト原稿にデータファイルを添付の上お送り下さい。
- 四、原稿は、新字のあるものはなるべく新字を用い、注の形式等は既刊のものに準拠してください。
- 五、投稿者は各自の原稿一頁(機関誌の書式)につき一〇〇〇円を発行経費として負担することをご了承下さい。
- 六、次号(17号)の締切は、二〇一八年九月三〇日です。